

仮想アースの検討(13)(HP 収載)

—電磁波吸収テープの活用—

1. 始めに

前報(12)では、JBL4350A に使用しているムジカライザーML-6 のマイナス端子にコンデンサーを接続し、電磁波吸収テープ NRF-005T を貼る効果を調べました。今回は、ムジカライザーを使用していない 12.5KHz 以上を受け持つスーパーツイーターについて電磁波吸収テープ NRF-005T の効果を調べます。

2. 電磁波吸収テープの試聴方法

今回の検討対象は、JBL4350A に使用しているスーパーツイーターPIONEER の PT-R7 です。PT-R7 には既に自作の仮想アースを接続しています。

前報(12)の結果が良かったので、今回は、倍音領域の改善を検討します。

まず、PT-R7 に加えて TAKE T の BAT ONE を平行にプラスします。そして BAT ONE のマイナス端子に銅板を繋ぎ、これに電磁波吸収テープ NRF-005T を貼って仮想アースとして使用します。

以上のようにスーパーツイーター機能を増強し、さらに電磁波吸収テープの効果を上乘せしてみるわけです。



音源は倍音の改善効果を知るために STAGE+からヴァイオリン曲を選択してみます。

3. 電磁波吸収テープの試聴結果

まず、STAGE+から [STAGE+を楽しむ\(4\)](#) で報告した下記のヴァイオリン協奏曲を聴いてみました。

バッハ ヴァイオリン協奏曲 2 番

ヒラリー・ハーン (ヴァイオリン)

ジェフリー・カーン指揮ロスアンジェルス室内オーケストラ

モーツァルト ヴァイオリン協奏曲 5 番

ヒラリー・ハーン (ヴァイオリン)

パーボ・ヤルヴィ指揮ドイツ室内フィルハーモニー・ブレーメン

バッハのヴァイオリン協奏曲 2 番は、ハーンの弾くヴィヨームの音色はオーディオシステムでは再生が難しいのですが、無難なところまで改善され、ロスアンジェルス室内オーケストラも歯切れのよい演奏を聴かせてくれます。

モーツァルトのヴァイオリン協奏曲 5 番は、ハーンの弾くヴィヨームが一層繊細感を向上させており、ドイツ室内フィルハーモニー・ブレーメンもディテールの再現性が向上しています。

さらに [STAGE+を楽しむ\(5\)](#) で報告した下記の無伴奏ヴァイオリン曲を聴いてみました。

Bach: Complete Sonatas, Partitas & Suites for Violin, Cello & Guitar

Shlomo Mintz Violin

Sonata for Violin Solo No. 1 in G Minor, BWV 1001

Partita for Violin Solo No. 1 in B Minor, BWV 1002

Sonata for Violin Solo No. 2 in A Minor, BWV 1003

Partita for Violin Solo No. 2 in D Minor, BWV 1004

Sonata for Violin Solo No. 3 in C Major, BWV 1005

Partita for Violin Solo No. 3 in E Major, BWV 1006

以上の無伴奏ヴァイオリンソナタとパルティータは、もともと JBL4350A の苦手とするジャンルですが、ミンツの使用楽器のベルゴンツィのこれまでのエッジの聴きすぎが緩和され、弦の滑らかさがでてきています。その結果、ミンツらしいボウイングの細かい動きも把握されるようになりました。

4. まとめ

JBL4350A で再生が困難であったヴァイオリン曲において、これまでのスーパーツイーターPT-R7 に TAKE T の BAT ONE をパラレルに加え、電磁波吸収テープ NRF-005T を貼り付けた銅板を BAT ONE のマイナス端子に接続する効果を認め

ました。

以上